

令和 7 年度伴走支援モデル事業の実施

令和7年度伴走支援モデル事業所の選定

(公募)

- センターが派遣する外部の専門家が県内介護サービス事業所を伴走的に支援し、業務改善や介護ロボット・ICT機器の導入等により生産性向上に取り組み、その成果を他の事業所に横展開する当該モデル事業を実施。
- 令和6年度は3事業所の伴走支援に取り組み、令和7年3月に発表会を開催して事例共有。
- 令和7年度は5事業所を実施対象予定として、令和7年5月に募集開始。
- 令和7年6月末までに、8事業所が応募。

(選定)

- 8事業所全てを実施事業所として選定することとしたい。

※8事業所の内訳

- ・サービス別：通所介護2、介護老人福祉施設2、介護老人保健施設1、特定施設入所者生活介護1、認知症対応型共同生活介護2、（小規模多機能型居宅介護1）
- ・地域別：津市2、四日市市1、伊勢市2、鈴鹿市1、伊賀市1、名張市1
- ・法人別：社会福祉法人4、医療法人1、株式会社2、有限会社1

伴走支援の進め方（イメージ）

伴走支援	全体説明会（1回目）	2回目・3回目			4回目
実施内容	●モデル事業所紹介 ●伴走支援の進め方（期間とPDCA） ●プロジェクトチームの結成 ●講師・担当者の紹介 ●求められる最終結果について	●現状確認 ●ヒアリングと視察 ●アンケート実施 ●支援内容(PDCA)の検討 ●KPI検討 ●スケジュールの確認 ●終了時ありがたい姿の設定 ●キックオフ宣言	●PDCAの決定 ●リソース確認 ●KPI決定 ●タスク確認 ●WBS,ガントチャート作成	●タスク進捗状況確認 ●発生した問題への対応とPDCA化 ●モチベーションマネジメント ●得られた結果の共有 ●発生した問題への対応 ●KPIの達成状況確認と方向性確認 ●振り返り	●前回発生した問題への対応結果確認 ●KPIの達成状況確認（最終） ●伴走支援後の取組（助言） ●モデル事業所としての役割
実施目標	モデル事業所として参画で、求められていることの理解	生産性向上としての事業所の現状理解と参画メンバーの意識統一	課題の確実な実施の確認	・事業主と全職員への共有 ・振り返りと目標達成に、必要な課題の整理 ・生産性向上の改善活動における職員評価が良好であること	ありがたい姿の達成（KPIの達成度）
対応者	・モデル事業所責任者等 ・県担当者（予定）、みえ介護生産性向上支援センター担当者	・責任者＋プロジェクトメンバー ・コンサルタント＋センター職員	・責任者＋プロジェクトメンバー ・生産性支援コンサルタント	・責任者＋プロジェクトメンバー ・生産性支援コンサルタント＋センター職員	・責任者＋プロジェクトメンバー ・生産性支援コンサルタント ・センター職員

※実際の進行は、各モデル事業所の現状とありがたい姿から、意見交換後に進め方について確認して進めます。
※WBS（ワークブレイクダウンストラクチャー）「作業構造分解図」といい、プロジェクトのタスクを細かく洗い出して表で示す手法です。

玉垣あんしん館通所介護事業所（富士ライフケアネット株式会社）

■基本情報

- ・通所介護
- ・鈴鹿市南玉垣町5520
- ・職員数：20名
- ・利用者数：45名

■現状の課題

- 5 S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）や3 M（ムリ・ムダ・ムラ）が十分に実行されておらず、人手不足感に輪をかけている。
- 課題の見える化で、取り組む課題の優先順位を決めたが、職員自らが力を合わせて改善に取り組んで行こうと言う気持ちにする事が出来ていない。
- 情報・知識不足のため効果的なテクノロジーの導入が進まない。

■課題解決に向けて取り組みたいこと

- 外部の専門家の支援によって、職員自らが働きやすい職場を作っていこうと言う風土改革を行いたい。
- 有効な先行施設の参考事例やテクノロジー製品、導入等に関する支援により、課題解決したい。

グループホーム・小規模多機能ホームとのむら（地域ケア株式会社）

■基本情報

- ・認知症対応型共同生活介護、小規模多機能型居宅介護
- ・津市殿村1553番地
- ・職員数：34名
- ・利用者数：認知症対応型共同生活介護18名、小規模多機能型居宅介護24名

■現状の課題

- 生産性向上員会業務改善のために生産性向上員会を立ち上げているが、今後の適正な委員会運営の定着について課題がある。

■課題解決に向けて取り組みたいこと

- 生産性向上委員会の自主運営と全職員のモチベーションアップを目指したい。
- 生産性向上で業務の軽減と収益性の向上を達成したい。

特定施設ひかりの橋（医療法人全心会）

■基本情報

- ・特定施設入所者生活介護
- ・伊勢市常盤2-4-35
- ・職員数：31名
- ・利用者数：80名

■現状の課題

- 睡眠状態や心拍が分かるセンサーを数台導入したが、効果的な活用に至らなかったことがあり、原因も製品自体に難があったのか、職員の意識に問題があったのかが不明であったことから、ICT機器導入には慎重になっている。
- 生産性向上委員会は設置しているが、未だ手探り状態で進んでいる状況であり、有効性のある委員会運営に課題を感じている。

■課題解決に向けて取り組みたいこと

- 現場職員が自らの負担軽減や業務効率化のために主体的に行動し、効果を実感できるようにしていきたい。
- 「やらされている」ではなく、自分たちで働きやすい職場環境づくりを実践することで、離職防止にもつなげていきたい。

特別養護老人ホームぬくもり園（社会福祉法人あやまユートピア）

■基本情報

- ・介護老人福祉施設
- ・伊賀市馬場600番地
- ・職員数：25名
- ・利用者数：48名

■現状の課題

- 施設内でも人手不足が深刻化しているため、業務を見直し、不要な業務や事務手順を削減していくことが求められている。
- 現状は業務手順を変える労力が捻出できず、結局従前の手法で業務をこなす事で手いっぱいの状態となっている。

■課題解決に向けて取り組みたいこと

- 前年度に実施したショートステイ連絡帳の簡素化など、業務改善の成功実績を積むことで、自ら課題抽出し解決のために行動できる職員集団を作っていきたい。
- 介護現場における生産性向上の取組の必要性や重要性を理解する職員教育を行っていきたい。

ふたみ介護老人保健施設シルバーケア豊寿園（社会福祉法人洗心福祉会）

■基本情報

- ・介護老人保健施設
- ・伊勢市二見町三津字池田855番地
- ・職員数：64名
- ・利用者数：100名

■現状の課題

- 見守りカメラシステムの導入による費用対効果の検証に必要な数値データの収集・分析手法について法人内で十分な知見がなく、導入による実際の改善効果を明示できていない。
- 職員による見守りシステムの活用についてばらつきが見られ、全体での運用定着に至っていない。
- 受入れ予定の外国人技能実習生に対して、言語や文化の違いに対応した教育や支援体制の強化、見守りシステムを活用するための運用方針の整備が必要となっている。

■課題解決に向けて取り組みたいこと

- 見守りカメラシステム導入による業務改善効果を定量的に可視化するための評価指標の設定や測定方法を確立することで、費用対効果を明確にし、法人全体でのICT機器活用の有効性を示す根拠としていきたい。
- 導入後の運用が職員によって異なる点を解消すべく、マニュアル整備や研修の強化を行い、システムを日常業務に組み込む標準化を推進していきたい。
- 外国人職員の受け入れに向け、見守りシステムを活用した多言語対応や視覚的な業務支援の仕組み作りも検討していきたい。
- 他拠点への横展開を視野に入れた持続可能なモデルを構築していくことを目指していく。

日永英水苑在宅介護サービスセンター（社会福祉法人英水会）

■基本情報

- ・通所介護
- ・四日市市大字日永5530番地23
- ・職員数：22名
- ・利用者数：45名

■現状の課題

○記録は基本紙に手で記入しており、月に一回の利用状況の報告と計画書に対する評価はエクセルに転記して表を作成していることなどから、勤務時間内に利用状況の報告や評価表を作成する時間が取れず、それが残業につながる一因となっている。

■課題解決に向けて取り組みたいこと

- タブレット等のICT機器を導入し、使い方を指導してもらい、意識的に学習することで、手書きの記録に使っていた時間を有効に使い、LIFE加算取得へ繋げていきたい。
- 記録ソフトを導入し、タブレット、パソコンと連携できるようにすることで、転記や利用状況の記録表を別にエクセルで入力して作る時間を削減し、出来た時間を利用者への支援の時間に使い、業務の無駄を減らすことで職員の活性化を図りたい。

特別養護老人ホーム名張もみじ山荘（社会福祉法人東海宏和福祉会）

■基本情報

- ・介護老人福祉施設
- ・名張市赤目町長坂日之谷250-3
- ・職員数：55名
- ・利用者数：80名

■現状の課題

- 現在は紙媒体による記録を行っており、記録作成・確認・共有に多くの時間を要している。
- 記録業務にかかる時間が多く、本来のケアにかけられる時間が圧迫されている。

■課題解決に向けて取り組みたいこと

- 記録ソフトや音声入力などのICT機器導入に際し、職員の操作不安を解消し、現場で定着するための導入手順や研修内容の整備を進めていきたい。
- 特に高齢の職員への配慮を含んだ教育方法や、フォローアップの仕組み作りを実施することで、スムーズな現場展開につなげていきたい。

グループホーム渚園（有限会社介護センター田中）

■基本情報

- ・認知症対応型共同生活介護
- ・津市柳山津興382-4
- ・職員数：16名
- ・利用者数：18名

■現状の課題

- 必要部品などを作業動線に置き、効率化を図るなどの取組を行っている。
- 現在、生産性向上委員会の設置などはなく、設置していきたい。
- 記録作業が手書きであるため、記録の整理に時間がかかり効率が悪い。

■課題解決に向けて取り組みたいこと

- 記録業務を録音機能があり、音声入力可能なタブレットによるものにしていきたい。
- 情報共有が一括で行えるようなシステムにしていきたい。